

島根県の地震

令和7（2025）年7月

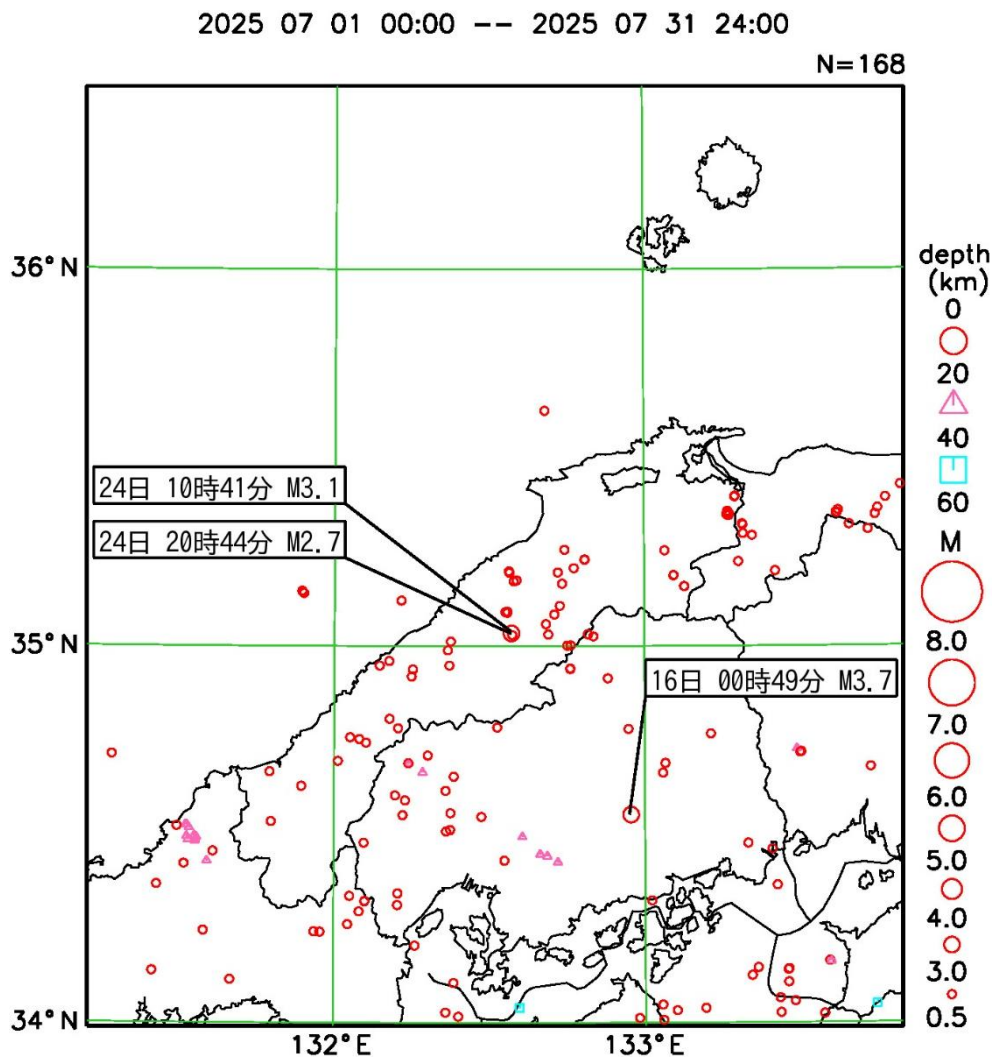
・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2025年7月1日～31日



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は168回（6月は333回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、3回でした。

16日00時49分 広島県南東部の地震（深さ19km、M3.7）により、美郷町・邑南町で震度1を観測しました。また、広島県で震度2を観測したほか、愛媛県で震度1を観測しました。

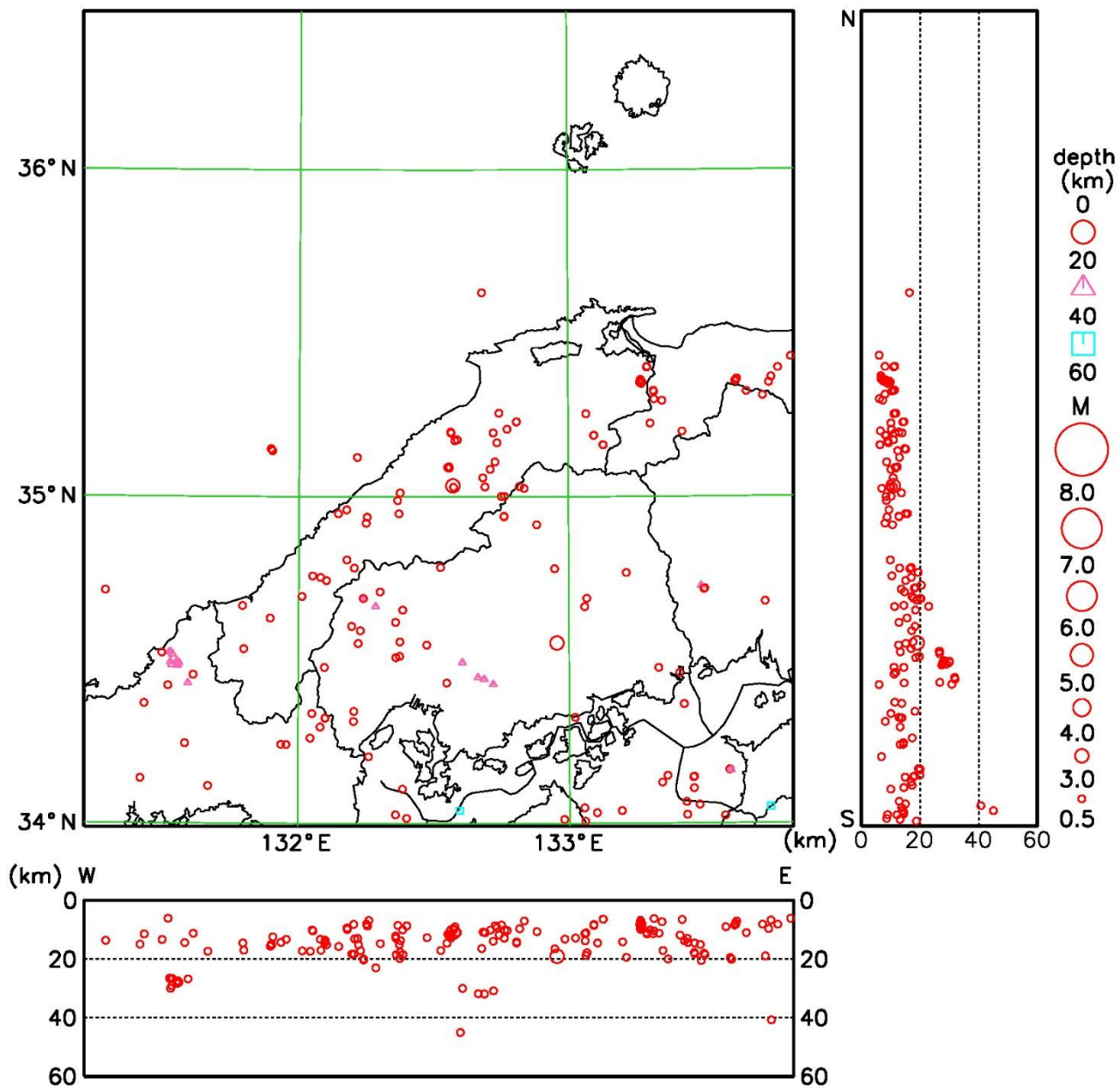
24日10時41分 島根県西部の地震（深さ11km、M3.1）により、川本町・美郷町・邑南町で震度1を観測しました。

24日20時44分 島根県西部の地震（深さ10km、M2.7）により、美郷町で震度1を観測しました。

※山口県北部の地震活動については6ページ参照。

[断面図]

2025 07 01 00:00 -- 2025 07 31 24:00



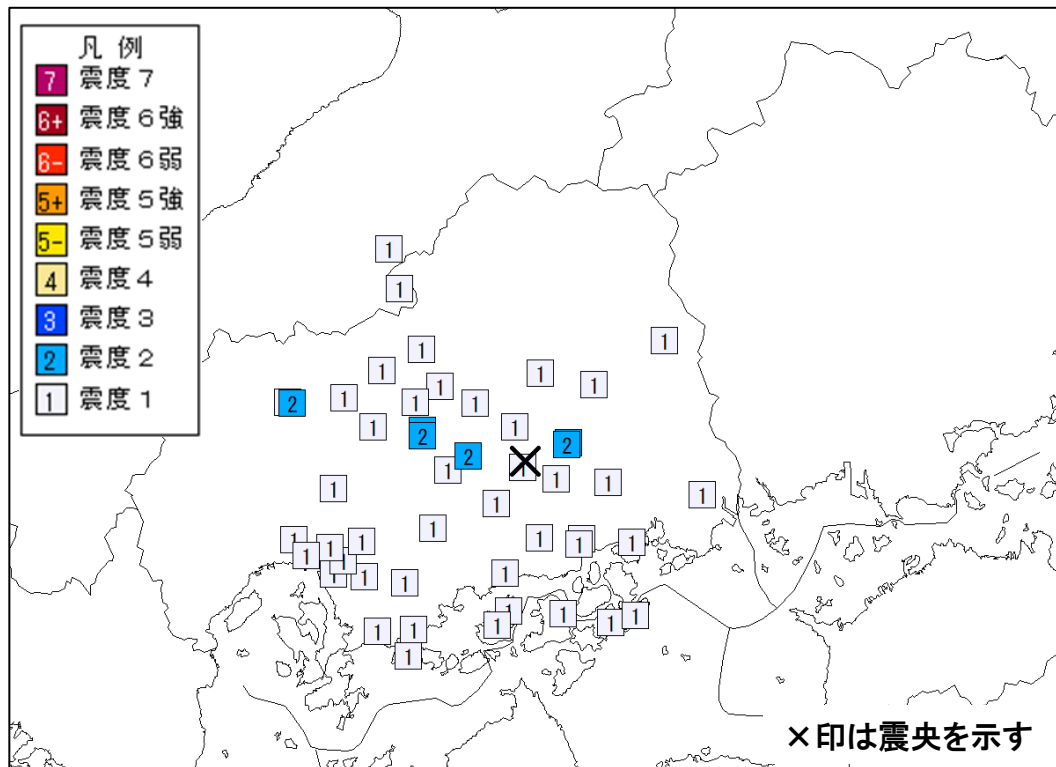
7月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2025年07月16日00時49分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1 : 島根美郷町都賀本郷*, 邑南町下口羽*	広島県南東部	34° 33.1' N	132° 57.3' E	19km	M3.7
2025年07月24日10時41分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1 : 川本町川本*, 島根美郷町君谷, 島根美郷町粕淵*, 邑南町下口羽*	島根県西部	35° 02.0' N	132° 34.2' E	11km	M3.1
2025年07月24日20時44分 ----- 地点震度 ----- 島根県 震度 1 : 島根美郷町粕淵*	島根県西部	35° 01.7' N	132° 34.3' E	10km	M2.7

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

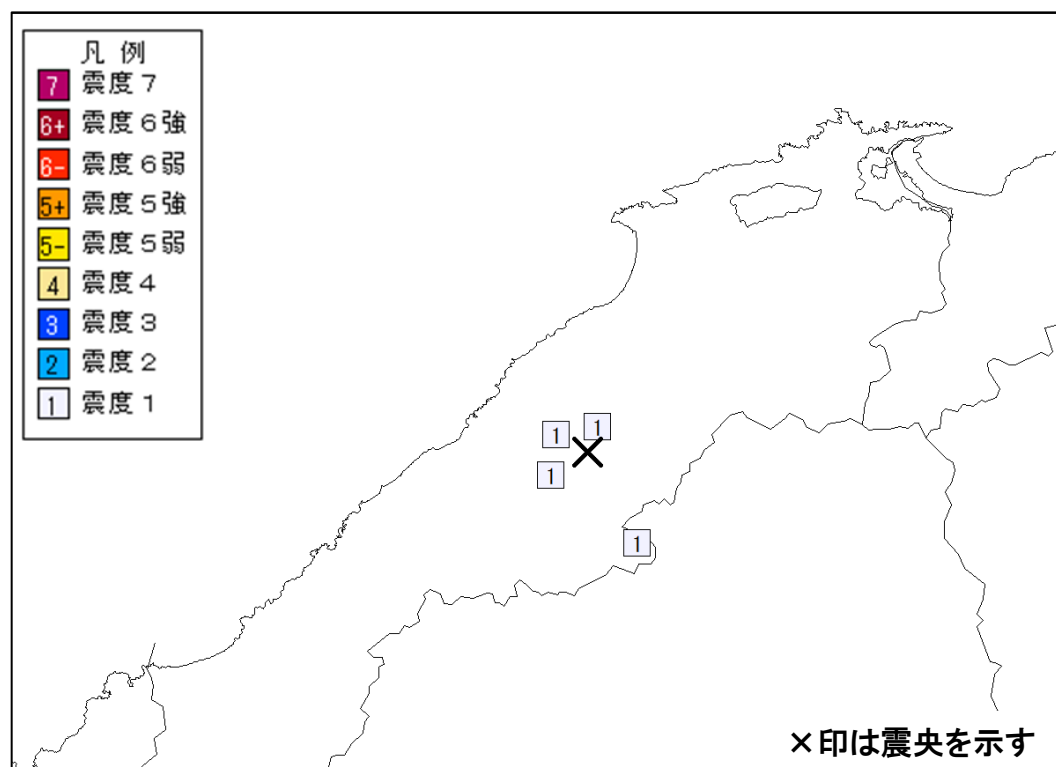
【観測点震度分布図】

2025年7月16日00時49分 広島県南東部



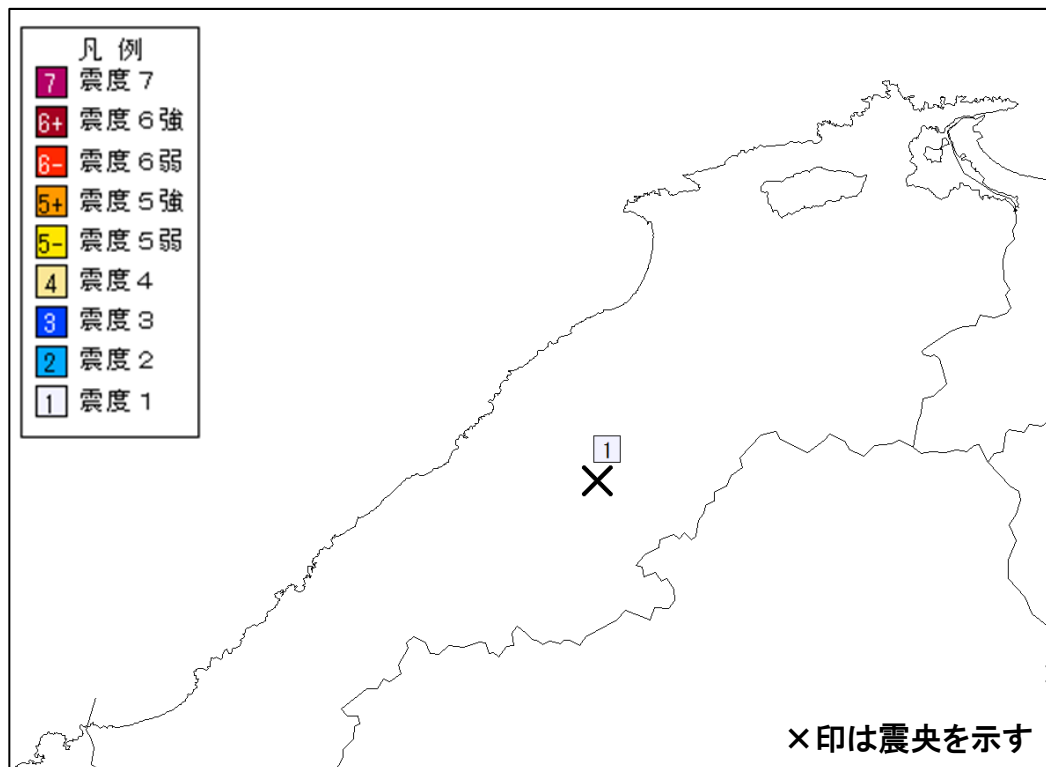
【観測点震度分布図】

2025年7月24日10時41分 島根県西部



【観測点震度分布図】

2025年7月24日20時44分 島根県西部



山口県北部の地震活動

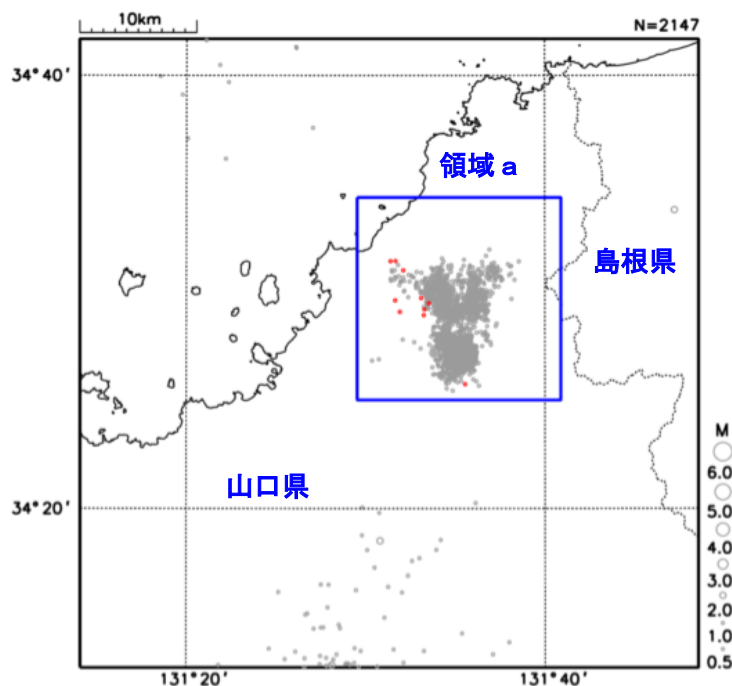


図1 震央分布図
(2000年10月1日～2025年7月31日、
深さ20～50km、 $M \geq 0.5$)
※2025年7月に発生した地震を赤色で表示

山口県北部では、これまで地震が発生していなかった場所(図1領域a)で、2025年2月1日から地震活動が見られるようになりました。この領域では3月上旬頃から地震回数が増加しました。6月以降地震の発生数は減少してきているものの、活動は継続しています(図3)。

なお、7月31日現在、震度1以上を観測した地震は発生していません。

政府の地震調査委員会(※)は8月12日に公表した「2025年7月の地震活動の評価」の補足説明において、この地震活動について評価しました。評価の詳細については下記リンク先の資料(P4、P30、P35～39)をご覧ください。

※地震調査研究推進本部に属する組織で、地震活動の評価を一元的に実施しています。

資料のリンク先

https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2025_07.pdf

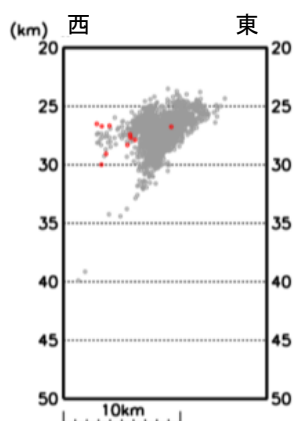


図2 図1領域a内の断面図

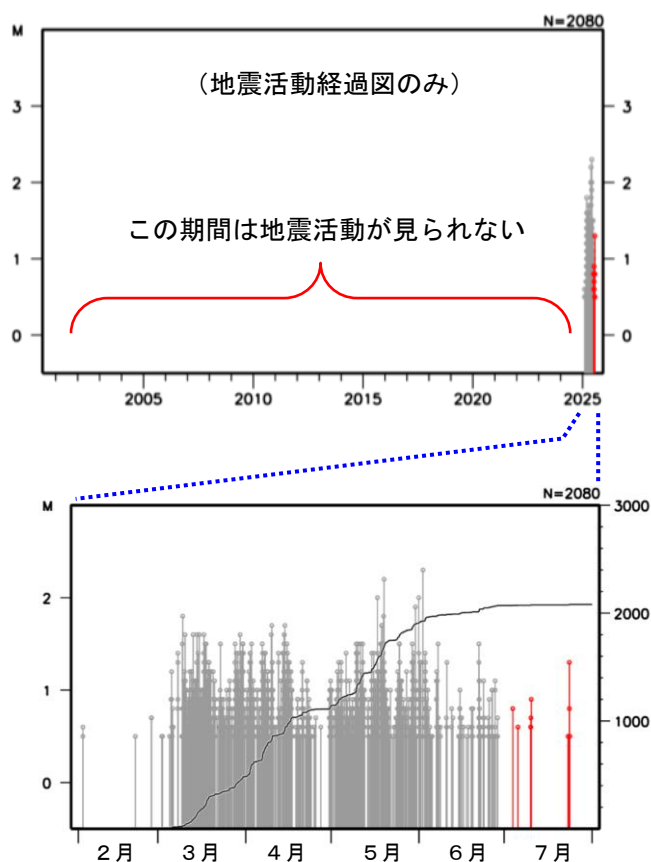


図3 図1領域a内の地震活動経過図及び回数積算図
上段：2000年10月1日～2025年7月31日
下段：2025年2月1日～7月31日

地震一口メモ

8月26日は「火山防災の日」

8月26日は「火山防災の日」です。「火山防災の日」をきっかけに、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えましょう。

○火山防災の日

活動火山対策の更なる強化を図り、住民、登山者等の生命及び身体の安全を確保することを目的とし、令和5年6月に活動火山対策特別措置法が改正され、8月26日を「火山防災の日」に制定しました。8月26日を「火山防災の日」とした理由は、明治44年8月26日に、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、器械を用いた近代的な観測が始まったことに由来しています。

○火山災害

火山災害の要因となる主な火山現象には、大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流、溶岩流、小さな噴石や火山灰、火山ガス等があります。また、火山噴火により噴出された岩石や火山灰が堆積しているところに大雨が降ると土石流や泥流が発生しやすくなります。特に、火山噴火に伴い発生する大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流は、避難までの時間的猶予がほとんどなく、生命に対する危険性が高いため、防災対策上重要度の高い火山現象として位置付けられています。



気象庁ホームページ：Yahoo!ニュース制作図解
(商用利用不可・図解を分割編集しての使用不可)

○火山災害から身を守る

火山災害から身を守るためには、普段からの備えや事前の速やかな避難が重要です。火山に登る際には、事前に次の確認をお願いします。

- 各市町村で作成している「火山防災マップ」による「噴火警戒レベル」に対応する危険な場所の確認。
- 避難場所や避難場所までの道順の確認。
- 気象庁が発表する「噴火警報」などの情報の入手方法の確認。

また、噴火のおそれがある場合には、危険な地域では事前の避難が必要です。地元の市町村の指示があった場合にはそれに従いましょう。

○気象庁ホームページ「火山防災の日」特設サイト

上記内容や気象庁の火山業務（火山観測・監視、火山に関する情報発表等）、日本の活火山（中国地方の活火山：三瓶山、阿武火山群）等の詳細については、「火山防災の日」特設サイト（以下アドレス）をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>